

質問番号：①

質疑応答書

科目名：図書館施設の設計と活用

講師名：比嘉 武彦

質問

武蔵野プレイスの1階カフェでアルコールを出す（夜間）ということですが、アルコールが入った時声がうるさいという苦情は全くないのか。

回答

私は建築の設計者なので、運営の細かい事情は逐一把握しておりませんが、あまりそのような声は聞こえてはきません。本格的な居酒屋のようなメニュー構成ではないので、食事と一緒に一杯といった感じの利用が多いようです。

質疑応答書

科目名：図書館施設の設計と活用

講師名：比嘉 武彦

質問

空調等、部屋がつながっていることで光熱費の効率は下がらないのか。

回答

最近の同等施設と比べますと、開口部面積が限られていることや個別に利用する室は、ガラスの扉等で間仕切られていること、輻射的なシステム等により、熱環境が比較的安定しやすく、エネルギー効率は良好です。

質問番号：③

質疑応答書

科目名：図書館施設の設計と活用

講師名：比嘉 武彦

質問

カフェの経営者は一つだけなのか。二つ以上なのか。(時間帯や曜日ごとに変わったりするのか)

回答

一社（カフェ・フェルマータ）です。

質疑応答書

科目名：図書館施設の設計と活用

講師名：比嘉 武彦

質問

武蔵野プレイスを設計・建設する過程で参考にしたアイデアや建築物はあるか。また最も苦心したことは何か。

回答

日本の古い建築様式、たとえば「寝殿造り」などは、異なる大きさの室をアドホックに組み合わせながら、次々とつながった形式になっています。一方で西洋の古い建築は主に力学的理由からドーム状になっているものが多いのですが、結果的に人を包み込むような空間性をもたらしています。そういった古今東西のいろいろなものからインスパイアされていたように思います。

最も苦心したことは、若い子どもから高齢の方まで、全世代をいかにリアルに共存させるということでしょうか。

質疑応答書

科目名：図書館施設の設計と活用

講師名：比嘉 武彦

質問

武蔵野プレイスには書庫は設けられていないのか。15万冊全てが開架されているのか。将来的に蔵書が増えた場合の対策等はどのようにする予定なのか。

回答

基本的に閉架書庫は設けられていません。すべてが開架です。資料の増大はある程度は見込んでいますが、当初より武蔵野市の3館構想において、地域図書館である武蔵野プレイスは開架のみと決まっていました。

質疑応答書

科目名：図書館施設の設計と活用

講師名：比嘉 武彦

質問

武蔵野プレイスは複合施設であることから、それぞれの主管セクションが異なるかと思うが、職員は各セクションからの派遣もあるのか。もしくは全てが指定管理者からなのか。統括責任者はいるのか。運営面の工夫なども教えてほしい。

回答

全てが指定管理者（現状では、「公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団」）です。運営等の考え方につきましては、武蔵野プレイスまたは上記の事業団のホームページをご参照下さい。

質疑応答書

科目名：図書館施設の設計と活用

講師名：比嘉 武彦

質問

10代後半の層を図書館に呼び込むしかけとして、武蔵野プレイスは地下2階にたまり場となる場所を作り成功しているが、独立したエリアとして作れない場合、他の静けさを求める利用者を住み分けるために建築的に考えられる工夫を教えてください。

回答

建具（視覚的には連続）などの可動の設えを用いて区画し、時間帯によって、仕切ったり、つながったりするような運用を行うのはいかがでしょうか。